

2004年10月18日

各位

双日株式会社

双日、中国鉄鋼業大手より世界初の
電磁鋼板専用連続酸洗冷間圧延設備を受注

双日株式会社は、中国の最大手製鉄グループである武漢鋼鉄集団公司（本社：湖北省武漢市、代表者：劉本仁）傘下の武鋼集団国際貿易総公司より電磁鋼板製造用の連続酸洗冷間圧延設備（Pickling Line & Tandem Cold Mill；PL - TCM）を約100億円で受注致しました。設備を納入するのは湖北省に位置する同グループの武漢鋼鉄股分有限公司で、生産能力は年間約95万ト、生産開始は2006年9月を予定しています。電磁鋼板専用のPL - TCM設備は世界にまだ一台も存在せず、今回の納入で初めて登場します。設備の設計および製造は、同設備の納入で世界一の実績を有する三菱日立製鉄機械株式会社（本社：東京都港区芝、代表者：宮永俊一）が行います。

電磁鋼板は、主にトランスやモーターの鉄芯などの用途に使われていますが、中国では2002年12月より環境保護に関する国策でエネルギーロスが大きい熱間圧延電磁鋼板の使用が禁止されました。熱間圧延処理の次工程で冷間圧延処理を行うことによりエネルギー効率が高い電磁鋼板を製造することが可能となり、PL - TCM設備の需要は今後さらに中国で増えることが予想されます。

武漢鋼鉄集団は、年間粗鋼生産量800万ト以上を誇る中国最大手の一角を占める製鉄会社であり、約25年前に日本の技術導入により中国で最初に電磁鋼板の生産を開始し、既に年間約40万トの電磁鋼板を生産しています。武漢鋼鉄集団の電磁鋼板設備拡張計画に基づく今回の設備の納入によって年間100万ト以上の生産能力を有することになり、中国では他社の追従を許さない体制が確立されます。

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03 - 5520 - 3185